

［上三川町］

積極的な町おこし策が結実し、多くの人を集めるイベントも

個性豊かな県内各市町の姿をご紹介しているこのページ。今回は、特産のかんぴょうなどで知られる上三川町をご紹介します。

県南東部に位置する上三川町は、その名のとおり町内を鬼怒川・江川・田川の３つの川が縦貫します。３河川にはさまれた土地は暮らしやすい平地主体の地勢で、古くから美しい田園地帯が広がってきました。戦後は、自動車工場の進出に伴い人口が急増しました。今日では県内で最も高齢化率の低い若い自治体となっています。

さて上三川町といえば、かんぴょうの生産が有名です。栃木県は全国のかんぴょう生産量の 90%以上を占めており、上三川町は、下野市・壬生町などと共に、かんぴょうの一大産地となっています。町では、食材としてのかんぴょうとともにふくべ細工（ふくべ一刀彫り）など、ふくべの実の特長を活かした独自の工芸品を生み出したりもしています。

もう一つの上三川町の特色は、こうした観光資源を使って積極的な町おこし運動を展開している点でしょう。商工会が開設している上三川町の情報発信の拠点・むかしなつかし館ではかんぴょうやふくべ細工など特産品をＰＲ・販売しています。さらに町は、祭りや駅伝・マラソン大会等のイベントを積極的に展開することで町の知名度向上に努めており、町おこし夏まつりなどは毎年２万人もの人出を記録します。



地域密着の祭・イベントを積極的に開催！

▶町おこし夏まつり

毎年７月の開催で、約2万人の人出がある夏まつり。町の中心の通りを、各町内のみこしやお囃子などが練り歩きます。



▶サンフラワー祭り

3haの畑に約10万本のひまわりが咲き誇り、多くの人が訪れます。毎年8月のサンフラワー祭りでは、音楽イベントやかんぴょうむき体験、子ども奉納相撲などの催しが盛りだくさんです。



▶しらさぎマラソン大会

毎年12月に開催され、約1,400名のランナーが、日産自動車㈱栃木工場内のテストコースや町内の周辺道路を走ります。



▶しらさぎ駅伝大会

毎年2月に開催され、一般の部・中学生の部合わせて約50チームの選手が、町内25.27kmを走り抜けます。



特産の「かんぴょう」を軸に町おこしのイベントを活発に展開！

ふくべ細工


▲ふくべ一刀彫り

上三川町の特産といえば、やはりかんぴょう。かんぴょうは夕顔の実の果肉をひも状に切って乾燥させたものです。夕顔の花は町の花にも定められ、夏の夕方、畑一面に咲く白い花は、上三川町の夏の風物詩です。

夕顔の実は乾燥させると表面は堅く木材のように、中はコルク状の空洞となります。これを使った工芸品がふくべ細工です。通常は表面に絵を描く程度ですが、上三川町では日光彫・鎌倉彫などの技法を取り入れ、表面に彫りを施した繊細な作品を生み出しています（ふくべ一刀彫り）。面やだるま人形、炭入れなどのほか、花器、マガジンラックなどの実用品も作られています（町内のむかしなつかし館などで展示・販売）。


◀むかしなつかし館

夕顔サマーフェスティバル



夕顔の花が開花する７月、上三川町の夏を彩る一大イベントとして開催。町の中心の通りを歩行者天国にして、よさこい流し踊りや花火大会などを行ないます。


▲ゆるキャラ・かみたんは町の鳥シラサギをイメージ

黒チャーハン



町のご当地グルメが黒チャーハンです。かみのかわBQグルメ研究会が町おこしのために開発したメニューで、かんぴょうやアスパラ、トマト、玉ねぎ、豚肉などの地元産の食材を使い、特製ソースで味付けして作ります。平成24年の「とちぎ元気グルメまつり」で準グランプリに輝きました。

上三川町の見どころ

●白鷺神社

日本武尊を祀る神社。1380年に小山義政が上三川城を攻めた際、神社の森に群れる白鷺を大軍の白旗と間違えて退却したとの逸話も残ります。日本一の大きさの干支絵馬や平和の剣、今は採掘禁止の日光石でできた鳥居が有名です。




▲平和の剣

●參沼親水公園

鬼怒川の河川敷に造られた公園で、親水ゾーン・鑑賞ゾーン・多目的ゾーン・保全観察ゾーンの４つのゾーンで自然に親しみつつ遊ぶことができます。



●しらさぎ公園

平成11年開園の白鷺神社の近くの公園で、園内には園内を一望にできる芝生の丘や遊具、噴水や池などの親水施設などが設置されています。




▲丘の上には日時計があります

●満福寺

建久年間（1190～99）の開創と伝える古刹。幕末に新撰組の土方歳三が宇都宮城を攻めた際に宿陣地となったと伝えられます。境内の大イチョウの樹も有名です。



●上三川城址公園



上三川城は、建長元年（1249）の築城から慶長2年（1597）まで350年にわたり栄えた名城で、現在はその城跡が公園として整備されました。桜やツツジなど、四季の花の名所として憩いの場となっています。

News

城址ナイト



おいしい料理とドリンク、そして仲間同士の楽しい語らい。この3つがそろい、上三川町で今もっとも盛り上がりを見せるイベントが、城址ナイトです。

城址ナイトは、地元商店街の主催で2015年から開催されているイベントで、期間中（4月～11月）の毎月最終木曜日の晩、町の中心・上三川城址公園を会場に、地元のカフェやパン屋さん、食堂などが工夫を凝らしたメニューで出店します。



profile

●上三川町

昭和30年に、上三川町・本郷村・明治村が合併して誕生した上三川町。

町内には古墳や官衙など多くの遺跡が残り、はるか昔から人の営みが盛んだったことが確認されています。鎌倉時代以降は上三川城・多功城などの城が築かれ、戦国時代には下野一帯をめぐる攻防の要となりました。現在も町内には城跡や多くの寺社が残り、歴史の香り豊かな町の雰囲気を形作っています。

▶面　積：54.39平方km
▶人　口：31,430人（11,456世帯）